

福音伝道者 ピリポについて、使徒行伝から  
読んでみましょう。使徒行伝は、イエス様が  
よみかえって天国の父の御許に昇天した  
後の、最初の証しの冒険について書かれた、  
聖書の書です。



ピリポは、エルサレムで新しく  
仲間に加わった大勢の人たちの毎日の  
配給を監督するため、7人の執事の  
一人として使徒たちに選ばれました。<sup>1</sup>

新しくクリスチャンになった  
何千人もの人たちの毎日の必要物の  
世話をするだけではなく、ピリポは  
力強い証し人でもありました。

ある時、ピリポはイエス・キリストと  
神の御国について人々に伝えるため、  
サマリヤの町へ行きました。ピリポは  
人々のために祈り、その結果、数多くの  
奇跡が起きました。彼の証しは、人々に  
大きな喜びをもたらしました。<sup>2</sup>



新約聖書に出てくる

信仰の人：

福音伝道者ピリポ

<sup>1</sup> 使徒行伝 Acts 6:1-7より

<sup>2</sup> 使徒行伝 Acts 8:5-8より

のち しゅ つか 後に、主の使いがピリポに、さばく ほうめん い つ 砂漠であるガザ方面へ行くようにと告げます。ピリポが  
ある 歩いてると、エチオピア人が王家の馬車に乗っているのが見えました。近づくと、  
その人はイザヤ書を朗読していました。

そして、ちょうどこの節を読んでいました。

「ほふり場に引かれて行く小羊のように、  
け か もの まえ 毛を刈る者の前でだまっている雌羊の  
おひつじ  
ように、彼は口を開かない。」

かれ くち ひら

しんかいやくせいしょ  
(新改訳聖書、

いざやしょ 53:7)



ピリポは、そのエチオピア人が読んでいる  
せつ 節はイエス・キリストについてだということや、  
イエス様がだれであるかを彼に説明しました。  
その人は信じて、イエスの御名でバプテスマを  
ひと しん み な 授けてほしいと、ピリポに頼みました。

ピリポがそのエチオピア人にバプテスマを

さす 授けると、おどろ 驚くべきことが起こりました！

とつぜん 突然、ピリポはきせきてき 奇跡的に、ずっときたの

アゾトの町に移送されました。歩いて

行ったのではなく、かみさま みたま 神様の御霊によって

はこ 運ばれたのです！ ピリポはそこで、何を

したでしょうか？ あか つづ 証しを続け、みんなに

イエス様のことを伝え続けたのでした！

このお話のいちぶしじゅう 一部始終については、しとぎょうでん 使徒行伝の

だいしやう 第8章 26-40節を せつ よ 読んでくださいね。

